

# 東京女子医大「自ら改ざん」認める 瀬尾容疑者

東京女子医大病院(東京都新宿区)で昨年三月、心臓手術を受けた平柳明香さん(当時十二歳)が死亡した医療過誤事件で、証拠隠滅の疑いで逮捕された同病院循環器小児外科講師、瀬尾和宏容疑者(46)が、警視庁牛込署特捜本部の二百までの調べに対し、「自分でもの調べに対し、」

看護記録の書き換えもした」と自ら改ざんしたことを認める供述をした。調べによると、瀬尾容疑者は昨年三月二日に行われた手術後、看護記録に記された明香さんの瞳孔径の数値など十数か所について改ざんした疑いが持たれている。瀬尾容疑者は当初、看護師長(54)やほかの看護師に改ざんを指示していたが、看護師長が一部関与した以外、誰も指示に従わなかったため、自ら改ざんしたという。

瀬尾容疑者は逮捕直後、「(改ざんを)指示した」と供述していたが、自らの改ざんは否定していた。

女子医大小児心臓手術事故

自らも改竄認める

2002年7月2日 読賣新聞夕刊